

きまち*de*いきいき



編集・発行 木町地区社会福祉協議会
木町地区民生委員児童委員協議会

秋保温泉日帰りバス旅行

社会福祉協議会会長
昌浦 昌勝

昨年9月の小雨降る中、大型バスにて秋保温泉ニュー水戸屋に出発しました。

コロナ禍で閉塞感漂う昨今、少しでも開放感を味わっていただきたく、2,000円の自己負担で参加を募りました。町内会長の方々にご協力いただきましたが、バス1台のため乗車定員も限度あり、一町内5名程度の募集でご迷惑をお掛けしたと反省しております。

宿の料理も思いのほか品数が多く、皆さん少々のお酒でお顔も赤らみ、お風呂で英気を養っていただけました。帰路の車中で感謝のお言葉をいただき、こちらも感謝いたしております。町内会長の方々をはじめ、民生委員・児童委員の大変なご尽力に厚く御礼申し上げます。



秋の日帰りバス旅行

災害への備え

ー防災意識を持続してー

民生委員児童委員協議会会長
谷口 加寿子

近年、各地で頻発する大規模な災害により、地域ぐるみで取り組む防災が一層重要度を増しています。当協議会でも毎年「災害時支援マニュアル」を点検し修正します。主に高齢の方が対象のため、住環境や体調の変化を日頃の訪問やサロン活動の中で把握して、資料に反映させています。それとともに、東日本大震災の経験を踏まえて、発生時の初動対応には一人ひとりの日頃の準備と近隣の身近な人たちとの声の掛け合いと助け合いが、最も大事であることを繰り返しお伝えしています。

3・11では、民生委員も被災して、インフラと通信が途絶えた状況下で高層階住居への訪問や安否確認は難しく、後から自宅避難が確認できた方の援助に回るのが精一杯でした。公的支援が届くまでの間は、誰もが自分で自分の身を守る必要があります。次の災害にどう備えるか。考えるヒントはこの地域の防災を知ることにあるかもしれません。まずは6月22日（土）の地域防災訓練に参加されてみてはいかがでしょうか。

篠笛演奏会

新坂通南部親和会

新坂通南部親和会の寿会恒例の食事はコロナ禍で中断しておりましたが、そろそろ再開を・・・との声に、昨年秋「篠笛演奏会」を知事公館で開催することになりました。日頃身近に親しむ機会のない篠笛ですが、落ち着いた雰囲気、の洋館に美しく響いて、ゆったりとしたひと時を過ごすことができました。

奏者AMBOさんは篠笛講師の傍らボランティア活動などご活躍です。演奏後には、自然な竹の姿を生かして作られた大小様々の篠笛を拝見して、皆さん興味津々。久しぶりの寿会、和やかに集うことができました。



AMBOさんの
篠笛演奏

ダーツの表彰式



いきいきサロン

3月28日ダーツで遊ぼう

民児協サロン担当

今回のサロンでは初の試み「ダーツで遊ぼう」を開催しました。参加人数は約40名のうち10名が男性でした。参加者全員がダーツ初心者ということで、講師の方に基本的なやり方を教えていただき、「レッツスタート」。

会場では初めこそ「矢が刺さらない」「的に当たらない」でしたが、そのうち初心者とは思えないハイスコア連発！徐々に盛り上がり熱気に包まれ、あちこちから歓声があがりました。コツをつかんで的に当てられるようになる人も多く、又思うようにうまくならずともまぐれで当たったり、他の人のゲームを応援しているだけでも楽しいので、各々夢中になって楽しむことができました。

体力は使わないのに程よい筋トレに、点数の暗算は脳トレに、と良いことづくめで楽しい時はあっという間に過ぎ、開催予定時間もオーバーしてしまうほどでした。これからも定期的にダーツの会を開催できたらと思っています。今回参加できなかった方の参加をお待ちしております。

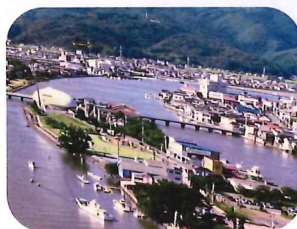
石巻訪問

民児協移動研修担当

去年は東日本大震災の13回忌であったことから、民児協の移動研修では11月14日に石巻の日和山公園・石巻南浜津波復興祈念公園を訪れ、震災で亡くなられた方のご冥福を祈り、石巻の復興を拝見いたしました。

津波から多くの人々が避難したことで「命の山」と呼ばれている日和山公園では、現在の石巻のまちの姿をうかがうことができました。また、石巻南浜津波復興祈念公園にある津波伝承館では震災の記憶と教訓を学び、復興に関する取組等を知ることができました。

東日本大震災の記憶と教訓は、長く後世に伝え継いでいくべきだと改めて考えさせられました。



日和山から見た
現在の石巻のまち